

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	しらかわ介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 真徳会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	62 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに掲載 (http://shirakawa-kaigo.jp)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 無

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	しらかわ介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 真徳会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果に対する意見を述べ、評価を行う。 学校長は、学校関係者評価委員会の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の向上に努めなければならない。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
特別養護老人ホーム施設長	R3年6月1日～ R5年5月31日	介護施設等関係者
白河地域在宅医療拠点センター副所長	R3年6月1日～ R5年5月31日	地域住民
社会福祉法人相談役	R3年6月1日～ R5年5月31日	その他学校長が必要と認める者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	しらかわ介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 真徳会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>学則に定めた「教育課程修業単位」を基にシラバスを作成している。</p> <p>授業計画書は、科目担当教員が作成し、2月を目途に集約している。</p> <p>シラバスには、科目ごとに「授業の概要」「到達目標」「評価方法」をわかりやすく表記するとともに、單元ごとのテーマ、具体的内容も明示し、授業の進捗がわかりやすくなっている。</p> <p>シラバス集は、学生、教職員（非常勤を含む）全員に配付して周知を図り、HP上で公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ (http://shirakawa-kaigo.jp)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>科目ごとに単元の最後に試験を行い、評価を行っている。成績の評価は試験の成績及びレポート評価、授業の学習状況、出席状況等を総合的に考慮し評価している。</p> <p>出席時間数については、講義が3分の2、演習3分の2、実習5分の4に満たない場合には理由の如何を問わず単位を認定しない規程となっている。</p> <p>学級担任制をとっており、適時学生との面談を行い、学習意欲等や生活面の問題等について把握している。学習意欲の低下・向上が見られない学生については、保護者を交えた三者面談を実施するなど、細やかな支援も行っている。</p> <p>年度末に進級・卒業判定会議を行い、学則に基づき厳正な判定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末に成績判定会議を開き、学生一人ひとりの成績を確認し、進級・卒業等の判定を厳正に行なっている。 年次ごとに成績表を作成して本人・保護者あてに知らせている。 成績評価は100点満点とし、基準は下記のとおり。 S : 100~90 A : 89~80 B : 79~70 C : 69~60 D : 59~ C以上合格</p> <p>GPAによる成績評価についてはS-4 A-3 B-2 C-1 D-0とし係数を算出し、これらの成績分布を踏まえ、学生の成績向上、問題点の把握に努めている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ (http://shirakawa-kaigo.jp)
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定については、学則第17条により、卒業に必要な単位を取得し、卒業判定会議において卒業を認められたものに対して、卒業証書とともに専門士（教育・社会福祉専門課程）の称号を授与する、と定めている。 なお、卒業に必要な単位数は学則で定める64単位（2048時間）のすべてが必要である。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ (http://shirakawa-kaigo.jp)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	しらかわ介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 真徳会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ (http://shirakawa-kaigo.jp)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	64 単位時間/単位	40 単位時 /単位	13 単位時間 /単位	11 単位時間/ /単位	単位時 間/単位	単位時 間/単 位
			64 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		20人	0人	3人	12人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画は、科目担当教員が2月を目途にシラバスを作成し、3月中に教育課程表に基づき調整を行い、年間の授業スケジュールを完成させている。</p> <p>シラバスでは、担当する教員に関する情報、到達目標、授業ごとのテーマや内容など、学びの経過をわかりやすく表示している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学則第17条により、教育指導計画にしたがって授業科目を履修した場合には、その成績を評価して合格した者には単位を与え、成績の評価は、試験の成績およびレポート評価、授業の学習状況、出席状況等を総合的に考慮して評価すると定めている。</p> <p>出席時間数についても定めており、講義については3分の2、演習については3分の2、実習については5分の4に満たない場合には、理由の如何に問わず単位を与えないとしている。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>各科目単元最後に定期試験を実施している。試験の評価を基本に、厳正に評価しており、D評価(59点以下)は、不合格となる。本試験不合格者は、再々試験までが認められおり、各学年に履修科目のすべての科目の単位取得が、進級、卒業の条件となっている。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任制をとっており、習熟度がおくれている学生に対しては、随時面談指導が行われている。特に深刻な学生については、保護者を交えて三者面談を実施し、学生の実態を知らせるとともに、学びの継続のための支援に心がけている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (%)	15人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 主に福島県内の介護施設に就職している。			
(就職指導内容) 実習等で自身の適正を見極め、就職先の選定に結び付けるよう指導している。ハローワーク担当者等と連携し、就職ガイダンスを計画的に行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士、専門士、レクリエーション・インストラクター、コンピュータサービス技能評価試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振・自身の適正の見直しに伴う退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学びの継続に向けては、担任による面接、補講の実施等、学生ごとに学びの継続に向けた支援・指導を行っている。また早い段階で保護者を交え、三者面談を行うなど、きめ細かな対応を心がけている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉 学科	300,000 円	600,000 円	180,000 円	教材費、実習費、健康管理費 施設管理費含む
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
福島県社会福祉協議会修学資金貸付制度 白河市より教材費支援 3万円/年2年間で6万円支給 (令和3年度入学生) 白河市より入学準備金 11万円 (令和4年度入学生)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://shirakawa-kaigo.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 委員会は3人以内で組織する。委員の選任は3つの区分 (①介護施設について知見を有する者②地域住民③学校長が必要と認める者) から構成する。 自己評価の内容が適切かどうかを評価してもらい、学校運営の改善を図ることを目的とする。なお、学校長は関係者評価をもとにより良い学校運営となるよう改善に努めることと定めている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
特別養護老人ホーム	R3年6月1日～ R5年5月31日	介護施設等関係者
白河地域在宅医療拠点センター	R3年6月1日～ R5年5月31日	地域住民
社会福祉法人	R3年6月1日～ R5年5月31日	特に学校長が必要と認める者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://shirakawa-kaigo.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://shirakawa-kaigo.jp
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。